

花きの県別生産出荷概況(8月見通し)

平成30年7月25日現在  
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積	出荷見込み		5月のピーク(%)			主産地
				期間	ha	出荷総数	京浜地域向	上旬	中旬	下旬	
				(ピーク)	(前年比)	千本	千本				
						(前年比)	(前年比)				
バラ	茨城	施設	アマダ, アバ ランチェ, サム ライほか	周年	8.00	270	190	35	30	35	古河市, 石岡 市他
	群馬	施設 (周年)	アヴァランチェ サムライ08 ほか	周年 (5~11月)	12.8 (100)	889 (99.8)	656 (99.8)	33	33	33	前橋市 富岡市 昭和村
	静岡	施設	サムライ オール4ラブ シンディ ベイブ	周年 10-12 3-5月	43 97%	600 95%	480 95%	30	30	40	JALみず JA大井川 JA掛川市 JA遠州夢咲
	愛知	周年	サムライ08 アバランチェ系 ファンシーローラ シンディ その他	4-3月 ( ) ( %)		2,250 100%	1,200 100%	35	30	35	愛知みなみ ひまわり 西三河
	大分	施設	Mシリーズ Jシリーズ その他各品種	周年	6.5	800 85	29 85	50%	30%	20%	玖珠九重 九重町飯田 山香
アルストロメリア	北海道	周年	オルガ レモン ホイットニー イレーネ	周年 (5・10月)	1183 93%	4791 93%		40%	35%	25%	新篠津村 JA新しのつ
トルコギキョウ	北海道	促成~	ピッコローサスノー ジャスニーホワイト クラリスピンク 海ほのか	5~11月 8~9月	2079 100%	3831 109%		0 0 -	0 0 -	0 0 -	由仁町 JAそらち南
	茨城	施設	レイナ, ロ ジーナほか	周年 (6月~7 月)	7	30	16	35	30	35	常陸大宮市, 水戸市, 石岡 市他
	群馬	施設 (季咲 き)	ロジーナ ボヤージュ バルカン ほか	周年 (6~11月)	6.2 (100)	215 (100)	206 (100)	20	40	40	昭和村 沼田市 富岡市
	千葉	施設	ボヤージュ	4~8月 (6月) 10~12月 (11月)	7.2 100%	460 84%	345 84%	80	15	5	館山市, 鴨川 市, 南房総市 (丸山, 千倉)

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
バラ	茨城	平年並み	<p><b>現状</b> 上旬は非常に厳しい相場展開。上位等級から下位等級まで価格が出ず、各産地出荷調整をする程。中旬は3連休、週末友引と多少の業務需要がある中、出荷調整が入った為に入荷量少なく、取引が活発化。下旬は非常に厳しい引き合いとなったが、シーズン終了の産地もあるため、入荷量は安定した。</p> <p><b>見通し</b> 引き合いが強まるのは25日以降であり、それまでは非常に厳しい取引が予測される。お盆期間は産地が休みに入り、入荷は極端に減少するが、引き合いもない。</p> <p>FAJ 引き続き宮城・山形など東北主体の入荷。安定した品質でロットがある程度まとまった状況</p> <p>東日本板橋花き 猛暑の影響で今度は上位等級品の出荷が徐々に減少し、この引き合いは強まってくるが、販売は引き続き下位等級中心に販売は厳しい見込み。</p> <p>世田谷花き 単価は入荷量次第。</p>
	群馬	日中の細霧冷房や夜間冷房等を行っているが、気温高の影響で到花日数が短くなり、一部で花が小さくなるなどの影響が見られる。しかし、高温対策を徹底することで、全体的には平年並みの品質を維持している。	
	静岡	出荷量は上中旬は出荷休止の生産者もあり、例年並み。20日以降に数量回復となる見込み。 一部産地で夜冷を行っており、本来なら5-60cm中心の発生だが、6-70cmクラスの発生が多くな	
	愛知	・8月全体の出荷量は前年並みの予想。旧盆前後で出荷休みを取る産地・生産者がいるため中旬は出荷量がやや少なくなる。 ・現状、下位階級の発生率が高くなってきているが、8月に入るとさらに割合が高くなる。8月後半は6割近くが下位階級となると思われる。	
	大分	8月上旬が多く、9月に向けて減ってくる見込み。温度次第ではあるが、前倒し傾向にある。関東には70～50cmで出荷。	
アルストロメリア	北海道	新株の品種が初旬頃までである程度出荷量はあるが、その後は徐々に出荷本数は減少する見通し。	<p><b>現状</b> 周年産地である愛知・長野県産は終盤となり大幅に減少、北海道・山形などの高冷地は高温が続き、採花本数少なく、全体入荷量も減少。月通して品薄単価高での取引となった。</p> <p><b>見通し</b></p> <p>大田花き 北海道・山形中心の入荷。引き続き高温により採花本数が少なく、入荷量少ない見込み。業務関係で使用率の高い白・紫系が引き合い高まる。</p> <p>FAJ 引き続き長野・山形より入荷。業務需要主体の販売続く。</p> <p>東日本板橋花き 青森県・北海道・愛知県中心の入荷。昨年並みの出荷量。</p> <p>世田谷花き 引き続き少ない。</p>
トルコギキョウ	北海道	7月に入り共選を開始できるまでの出荷になった。他産地も出荷が遅れているが、高単価で推移している。	<p><b>現状</b> 上旬以降西南産地の2番花が終わり早く、千葉、茨城といった中間地の相場が高止まりした販売となる。長野、福島も始まったが極端な増加には至らず、引き合いの強い7月となった。中旬以降は引き合いも落ち着き安定相場となった。</p> <p><b>見通し</b> 需要期に向けて数量は増え出すか、厳しい販売展開が予想される。盆の需要期は引き合いは高まるが、それ以降は軟調な相場展開が予想される。</p> <p>大田花き 引き続き東北各県主体の入荷。8月盆需要で入荷・引き合いともに増加。</p> <p>東日本板橋花き 青森県・秋田県・山形県など高冷地産中心の入荷で北海道も始まる。入荷量は昨年並み。遅れていた北海道産の出荷がピークに。山形からの入荷も増える。一方長野・千葉産終盤。</p> <p>世田谷花き</p>
	茨城	平年並み	
	群馬	生育は順調であるが、生育が10日程度早いため、出荷のピークは平年よりやや早くなる見込み。	
	千葉	①生育は順調で切り花品質も良好。 ②ポヤージュシリーズが中心。 ③8月上旬でほぼ終了。	

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積	出荷見込み		5月のピーク(%)			主産地
				期間	ha	出荷総数	京浜地域向	上旬	中旬	下旬	
				(ピーク)	(前年比)	千本	千本				
りんどう	秋田	露地施設	ながの系 しなの系 パステル系	5月～11月	43.4	12,038	5778	60	30	10	白神 しんせい おぼこ
				8月	106%	114%	48%				

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
りんどう	秋田	生育は順調。産地によって生育に若干ばらつきがみられ、1日～6日にかけてピークを見込む。特に数量が多いと思われるのは、5日前後で、日量6000ケースほどを見込む。	<div data-bbox="863 304 959 342" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">現 状</div> <p>上旬より徐々に増加。盆需要期に数量纏まり堅調な販売となった。中旬以降は需要も落ち、軟調な相場展開となった。</p> <div data-bbox="863 399 959 437" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">見通し</div> <p><b>大田花き</b> 上旬より8月盆向けの早い納品があるが、ピークは6日、8日、10日の納品。それ以降は相場も落ち着き厳しい販売が予想される。梅雨明けも早く、高温期が続くなど天候次第で相場も大きく左右される。</p> <p><b>FAJ</b> 岩手・秋田主体の入荷に。8月盆用にロットのまとまった出荷が続く。数量は昨年並み</p> <p><b>世田谷花き</b> 旧盆の引き合いも安定。各産地まとまれば、下旬入荷減。</p>